

にじいろぱれっと・富岡町心の復興事業プロジェクト

～特定非営利活動法人東北の造形作家を支援する会(SOAT)～

富岡町心の復興事業計画書

取組の目的・概要・効果・特徴

【目的・概要】富岡町に帰還した住民と避難先住民に対しアートワークショップを行う。目的は①世代を越えた地域内交流の促進 ②生きがいづくり ③心身のケア ④本事業の地域内への緩やかな定着。開催にあたっては企画・運営に主体的に住民が参画し、造形作家・専門家が講師、サポートを行う。

【取組の効果】①地域内世代間交流の促進:世代を越えた「顔見知り」が出来る事は地域内でお互いをゆるやかに気に掛けていく繋がりがつくりとなる。②生きがいづくり:「地域の為に働きたい」「誰かのために働きたい」という住民力を具現化することが出来る。③心身のケア:ものづくりによる心のケア、また住民の交流機会創出の機会創出となる。④本事業の地域内への緩やかな定着:富岡町で活動する支援者(住民)と、その活動に関連する専門家との接点と学びの場を創出することで、本事業の活動成果が緩やかに定着していくことが期待できる。

【事業の特徴】東北の造形作家を支援する会(SOAT)は造形・美術をはじめ、衣食住に渡り多彩な専門分野における専門家集団である。コンテンツを多様化することで幅広い住民が参加できる。また、専門家が指導・サポートを行う事は住民のモチベーションアップにつながり、専門的な経験を通して知識を得ることは住民主体の継続した活動の礎になる。

取組内容

【取組①アートワークショップ

実施主体:SOAT、お手伝いボランティア、連携団体】

○住民と子どもたちによるアート作品共同制作(富岡町 2回)

○ものづくりサロン(富岡町11回、いわき市2回、郡山市2回)



【取組②お手伝いボランティア

実施主体:SOAT、お手伝いボランティア、連携団体】

○アートワークショップ開催に関わるボランティア(「お手伝いボランティア」)をものづくりサロンなどで募集し、ものづくりサロンの事前準備や自主ワークショップ開催に向けた活動を行う。(富岡町6回)



【取組③富岡町で活動する支援者(住民)の学びの場づくり 実施主体:SOAT、連携団体】

○富岡町で活動する支援者(住民)と、その活動に関連する専門家との接点と学びの場を創出する。支援者が学びや実践を経験することで、本事業の活動成果が緩やかに定着していくことが期待できる。(富岡町3回)



次年度以降の展開

本事業実施により生まれた専門家と住民の繋がりを必要に応じて繋ぐことができるようサポートしていく。また、令和7年度の活動を通して継続が必要と判断しうる案件がある場合には、財源も含め地域支援者、住民と実施可否について検討を行う。